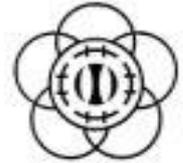


# 大いちょう

令和7年2月25日 第13号

学びあい  
はげましあい  
高めあい



3つの「あい」 校長 徳増由美子

## 「令和6年度学校評価」から見られる成果と課題【抜粋版】

### 児童の回答結果（回答数648名 回答率92.6%）

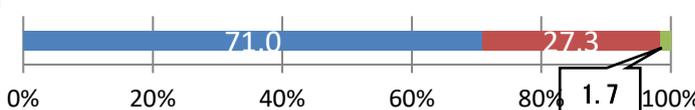
#### 1 成果 【「よくできる・とてもそう思う」「できる・そう思う」の割合が90%以上の質問項目を取り上げました。】

問1 家の人と、学校のことや友達のことなどのいろいろな話をしている。【95.7%】



昨年度と比べて、高い数値を示している。家庭でのコミュニケーションを十分に取れていると推察でき、大変好ましい。

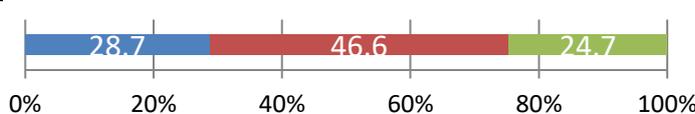
問4 日頃から、友だちと仲良く生活している。【98.3%】



昨年度(97.6%)に比べ、0.7%上昇している。集団生活での学びを生かして、良好な友達関係を築いている児童が多いことがわかる。

#### 2 課題 【「よくできる・とてもそう思う」の割合が低かった質問項目を取り上げました。】

問3 家で時間を決めて読書をしたり、勉強したりしている。【28.7%】

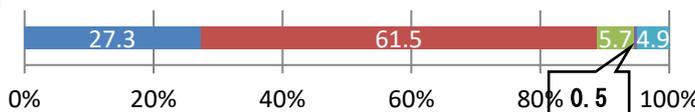


「とてもそう思う」が28.7%と低い数値であり、「そう思う」を含めても75.3%である。引き続き、読書の魅力を児童に味わわせるとともに、家庭学習の取り組み方について学校と家庭が更に連携していきたい。

### 保護者の回答結果（回答数369名 回答率69.5%）

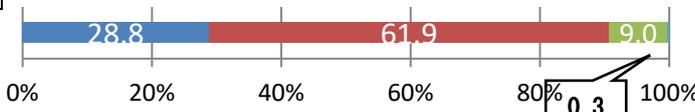
#### 1 成果 【「よくできている」「できている」の割合が85%以上の質問項目を取り上げました。】

問1 小手指小学校は、学校の取り組みや安全に関する情報を家庭に伝えている。【88.8%】



昨年度と同様に、高い数値である。学校だよりや学年だより、HP、学校ほっとメール、tetoru等を活用した情報発信によるものと考えられる。

問9 家庭では、子供と会話をする時間を大切にしている。【90.7%】

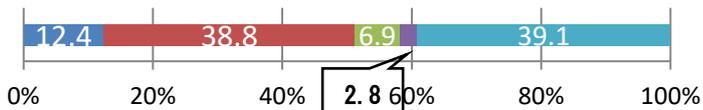


高い数値を示している。児童回答・問1の結果と重ねて考えると、子供たちは自分の話を誰かに聞いてもらえる有用感があると推察できる。

#### 2 課題 【「よくできている」「できている」の割合が低かった質問項目を取り上げました。】

問7 小手指小学校は、いじめ問題の解決にあたり未然防止、早期発見及び早期対応に努めている。

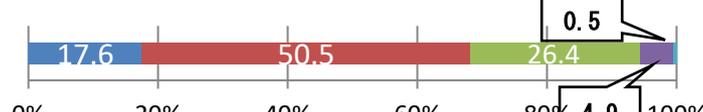
【51.2%】



昨年度(49.3%)より伸びが見られるが、「判断できない」も4割弱を占めている。小手指小学校いじめ防止基本方針やいじめアンケートの取組等を家庭や地域へ伝えるとともに、今後も教職員全体で子供たちを見守っていききたい。

問16 家庭では、ゲームやインターネットの時間、携帯の約束事等、わが家のきまりを決めている。

【68.1%】



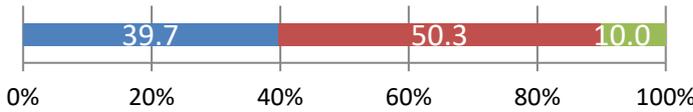
令和4年度(75.1%)、令和5年度(68.4%)と年々下降している傾向が見られる。学校においても情報モラル教育の重要性を再確認し、健康面や依存性、倫理観等について子供たち自身に考えさせる指導を行っていききたい。

# 児童のあいさつ等の生活習慣に関わる回答結果

## 1 児童の回答

問2 家庭生活の習慣<早寝・早起き・あいさつ・食事・排便(はいべん)など>ができています。

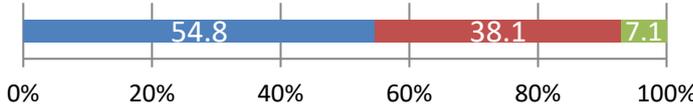
【90.0%】



90%の児童が生活習慣の一つとして「あいさつ等ができています」と回答している。学校においても望ましいあいさつの仕方等を継続的に支援していきたい。

問12 「おはようございます」「ありがとうございます(ございます)」「ごめんなさい」「失礼します」などのあいさつをはっきり言うことができる。

【92.9%】

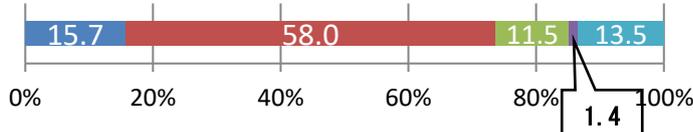


高い数値を示している。児童自身は、できるようになってきていると感じているようである。

## 2 保護者の回答

問6 小手指小学校は、礼儀やマナーなど、豊かな心の育成に努めている。

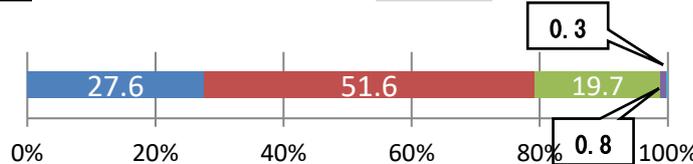
【73.7%】



当面の目標値を80%と定め、今後も教育活動全体を通して、集団生活における礼儀やマナーの指導や道徳教育を充実させていきたい。

問10 家庭では、早寝・早起き・あいさつ・食事・排便等を習慣化している。

【79.2%】

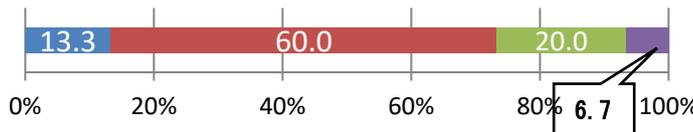


昨年度(77.5%)より、1.7%上昇している。今後も家庭への啓発を行っていくとともに、保健体育等での健康教育を推進していきたい。

## 3 地域の方(学校運営協議会委員・自治会長・学校ボランティア等)の回答

問5 小手指小学校の子供たちは進んであいさつをしている。

【73.3%】



校舎内や登下校の見守りボランティアさん等へのあいさつはできるようになってきているが、個人や登校班等により差があるようである。引き続き、本校の合言葉「あいさついっぱい 笑顔いっぱい」の実現を目指して、指導・支援を行っていきたい。

## 考察

### 〈児童の回答より〉

全15問の質問に対して、「よくできる・とてもそう思う」「できる・そう思う」を合わせた割合が90%を上回った質問項目は7問であった。他の設問においても比較的高い数値が見られたことから、児童は学校生活や家庭での生活に概ね満足している様子がうかがえる。

### 〈保護者の方の回答より〉

家庭内での会話時間が高い数値を示していること等から、児童にとって家庭が安心できる場となっていることがわかる。また、回答結果において、「判断できない」の割合が多いことから、今後も学校は情報をどのような方法で家庭や地域に発信していくことが効果的であるかを検討していく必要がある。

### \*おわりに\*

本調査では、多くの保護者の皆様にご協力いただきありがとうございました。ご回答いただいた内容は、来年度の教育活動の参考とさせていただきます。また、本号では、調査結果の顕著なものを【抜粋版】として、掲載しています。すべての質問の調査結果につきましては、本校HPに掲載してありますので、こちらをご覧ください。